

このセンサーは、新型の省エネセンサーで、高感度検出センサーと集積回路を使っています。このセンサーは、自動で便利、そして安全、省エネ、実的な機能を持っています。このセンサーは、制御信号として人体が発する赤外線を利用します。そして検出エリアに入ると接続した負荷をONにします。このセンサーは、自動で昼夜を区別します。取り付けは簡単で、広い用途に使用することができます。

■製品諸元

- 検出範囲: 360°
- 電源電圧: 交流100~240V
- 電源周波数: 50/60Hz
- 点灯時間: 最小 10±3秒  
最大 5±1分
- 周囲明暗感度: <3~2000LUX(調整式)
- 定格不可: 最大60W(蛍光灯、省エネランプ)
- 検出距離: 最大6m(<24°C)

製品寿命と保障

- 製品寿命: 20000~50000時間以上
- 保障: 2年間

■使用方法

取付

- ・センサーを取付ける電球ソケットを天井や壁に取付けます。
- ・取付けた電球ソケットにセンサーと電球を取付け、テストをします。

動作テスト

- ①センサーと電球を取付後、センサー側面にある2つの調整つまみのうち、LUX(周囲明るさ)つまみを時計回転方向、最大(太陽側)側へまわします。TIME(点灯時間)つまみを反時計方向の最小(-)に回します。
- ②センサーに通電します。センサーとランプは、最初信号がありません。通電30秒後のウォームアップ後、センサーは動作を開始します。センサーが人の赤外線を検知すると、ランプは点灯します。検知範囲から人が出ると、ランプは設定点灯時間後(当初10秒に設定しておく)消灯します。
- ③LUXつまみ(周囲明るさ)を反時計回りの最小(月マーク)に回します。周囲明るさが3LUX(ルクス)以上の場合、センサーは動作せず、ランプも点灯しません。周囲明るさが3LUX以下(暗い)場合、センサーは動作します。人が検知エリアからいなくなった場合、センサーは10秒で動作を停止します。

注意: 日中テストをする場合、LUXつまみをSUN(太陽マーク)位置に回してください。そうしないとセンサーランプは動作しません。

